

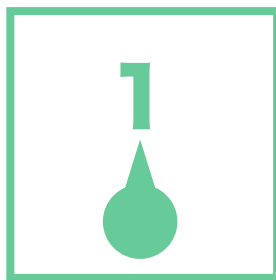
GUITAR WIZARD

BASIC

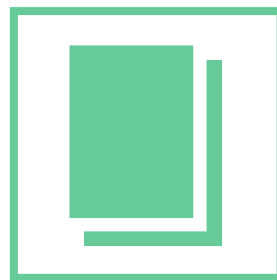
楽譜の読み方



B A S I C



C H A N N E L 1



A R C H I V E



E L E C T R I C



A C O U S T I C



D O W N L O A D

楽譜の読み方

1 はじめに

2 楽譜の種類

1 タブ譜の読み方

2 ダイアグラムの見方

3 五線譜の読み方

4 コード譜の読み方

5 リード・シートの読み方

3 音楽記号

1 音部記号

2 拍子記号

3 小節線

4 変化記号

5 臨時記号

6 調号

7 音符

8 休符

9 反復記号

10 強弱記号

11 アーティキュレーション記号

12 速度記号

13 その他の記号

4 ギター奏法記号

5 まとめ

解説

- (1) 楽譜の読み方を学びます。
- (2) ギター演奏に関する楽譜として、タブ譜、ダイアグラム、コード譜、五線譜、リード・シートなどがあります。それぞれの楽譜の用途と読み方のポイントを学びます。
- (3) ギター奏法記号を学びます。

習得内容

- ☒ 楽譜の種類
- ☒ タブ譜の読み方
- ☒ ダイアグラムの見方
- ☒ コード譜の読み方
- ☒ 五線譜の読み方
- ☒ リード・シートの読み方
- ☒ 音楽記号の読み方
- ☒ ギター奏法記号の読み方

解説

(1) ギターを弾くうえでよく使用する楽譜はいくつか種類があります。
それぞれ、特徴がありますので、捉えておきましょう。

(1) タブ譜

ギターの楽譜で最もポピュラーなもので、ギター用の楽譜です。
押弦する場所を明確に把握できます。

(2) コード譜

主にコード進行を把握するために使用します。

(3) ダイアグラム

押弦する場所を表記した、ギター用の図です。

(4) 五線譜

五線に音符が書かれてある楽譜で、楽譜の中で最もポピュラーです。
あらゆる楽器に対応しているので、他の楽器奏者と意思疎通がしやすい
のがメリットです。
ポジションの指定がないので、ギタリストはどのポジションで弾くか、
自分で選択する必要があります。

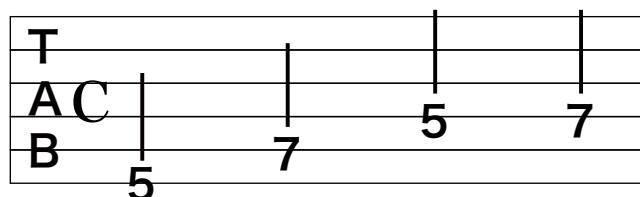
(5) リード・シート

メロディ譜と、コード、リズム・パターン、進行順などが表記された、
曲のアウトラインを捉えるための楽譜です。

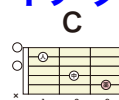
図

楽譜の種類

タブ譜



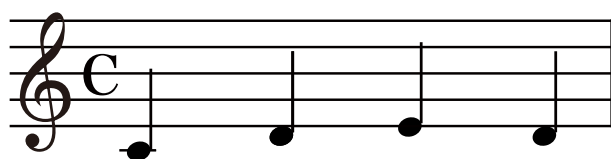
ダイアグラム



コード譜

C G Am F
おおきな の っ ぽ の ふ る ど け い

五線譜



リード・シート

〇〇ソング

[A]	C	Am	F	G
	C	Am	F	G
	C	Am	F	G
[B]	F	G	Em	Am
	F	G	C	

解説

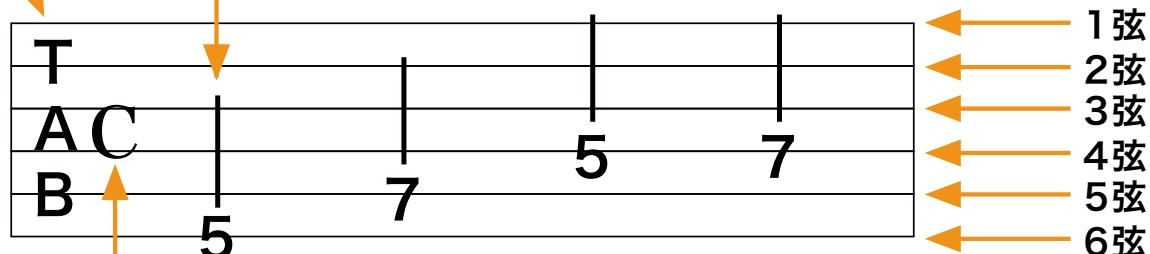
(1) タブ譜は、ギター用の楽譜です。ギタリストにとって分かりやすくできています。

図

タブ譜の見方

線が 6 本

6 弦 5 フレットを押さえて弾く



ダウン・ピッキング

アップ・ピッキング

4 分の 4 拍子という意味

(1、2、3、4 と数えて次の小節に進む)

解 説

- (1) ダイアグラムとは、押弦する場所を表記した、ギター用の図です。
- (2) 音符を把握しなくても、見た目ですら押弦する場所がわかるのがメリットです。
- (3) コード用と、スケール用のダイアグラムがあります。

図 - 1

コードのダイアグラム

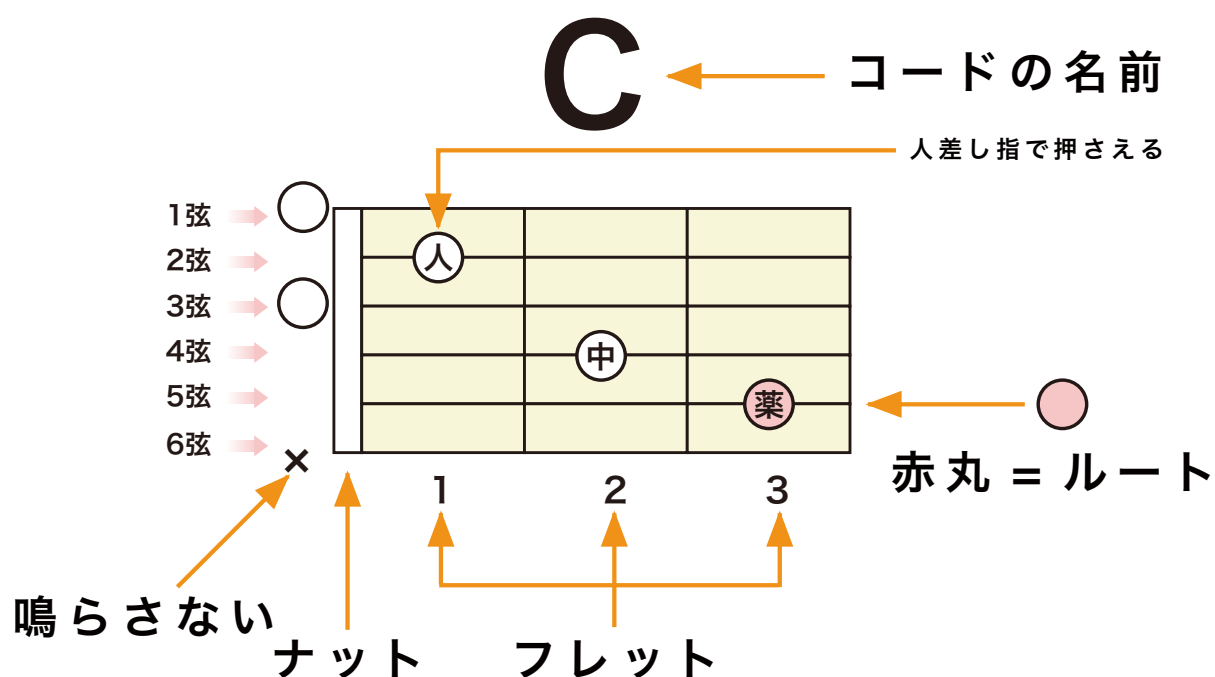
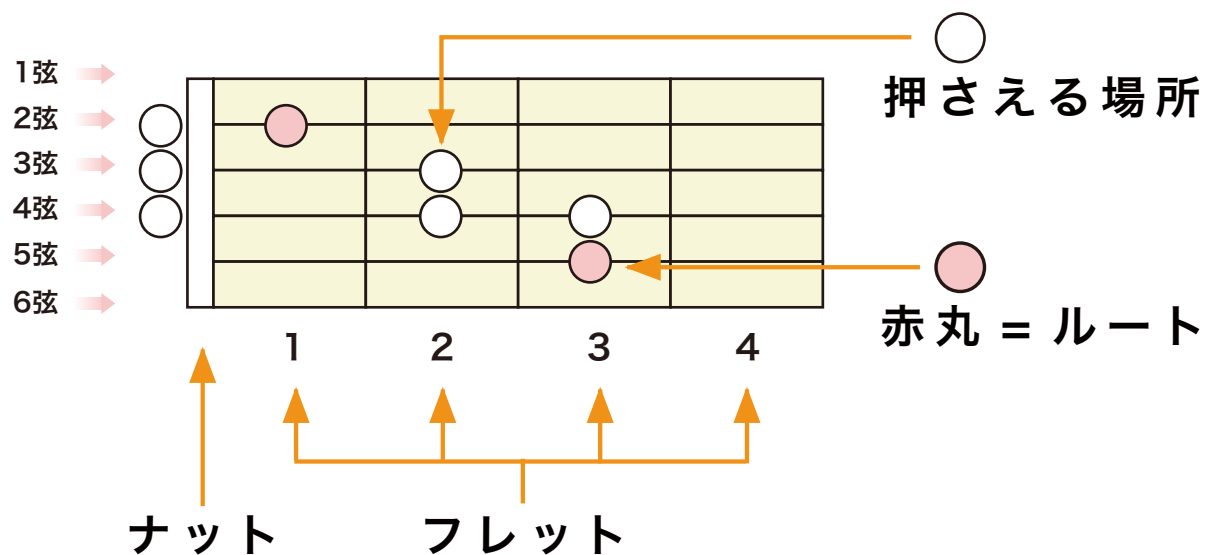


図 - 2

スケールのダイアグラム

C メジャー・スケール



解説

- (1) コード進行を把握するための楽譜です。
- (2) 歌詞の上にコードが表記されているものが多いです。
- (3) ダイアグラムも表記されているものもあります。



コードのダイアグラム

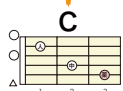


基本ストローク・パターン

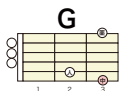
コード・ダイアグラム

セクション・マーク

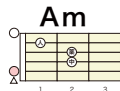
A



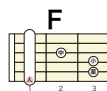
C



G



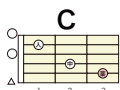
Am



F

歌詞

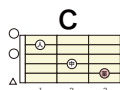
おおきな の っ ぽ の ふ る ど け い



C



G7



C

コード

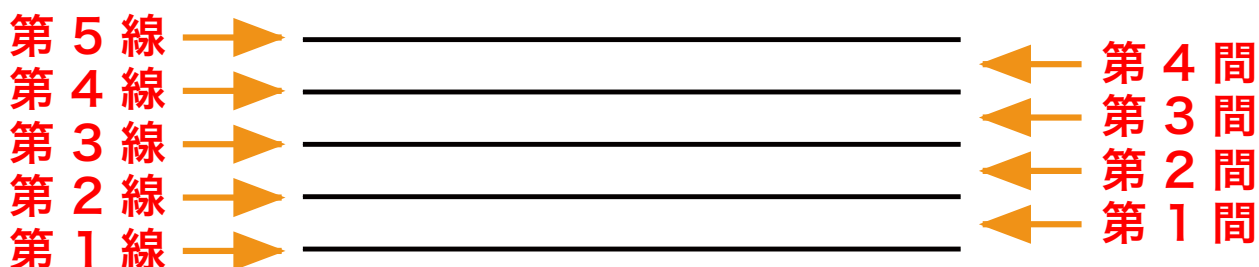
お じ い さ ん の と け い

解説

(1) 五線譜の基本的な読み方を学びましょう。

図

五線譜各部位の名称 線と間



五線譜各部位の名称 加線

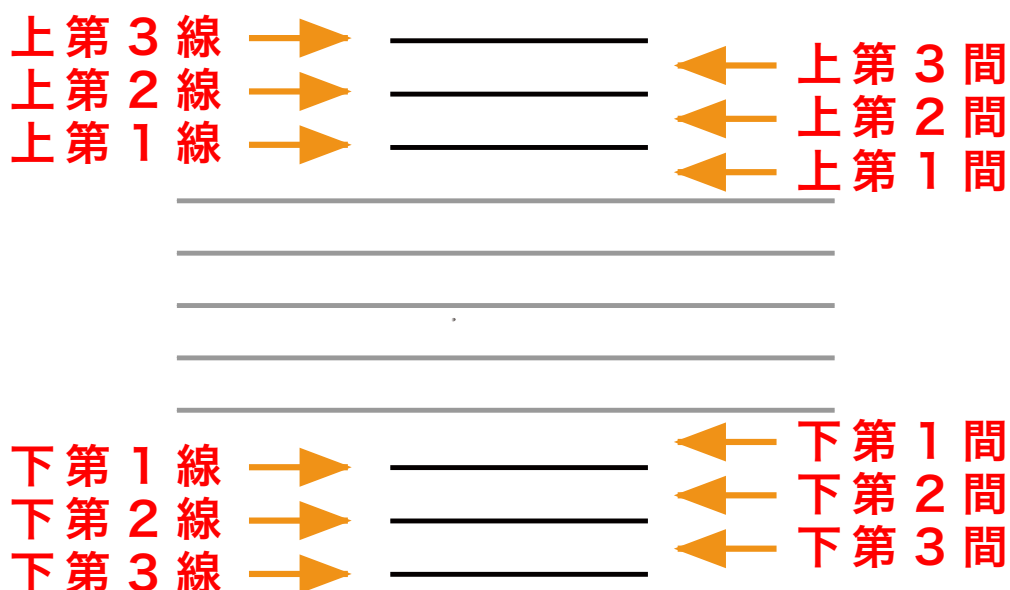


図 - 2

音名

音名の位置は下記ようになります。

T							0	1
A					0	2		
B	3	0	2	3				

ギターの場合、複数のポジションで弾くことが可能です。
ここでは1パターンのみ掲載しておきます。

解説

- (1) メロディ譜と、コード、リズム・パターン、進行順などが表記された、曲のアウトラインを捉えるための楽譜です。他の楽器奏者と意思疎通がしやすいのがメリットです。
- (2) ジャズ・スタンダードの楽譜に多いです。
- (3) ギターの細かい演奏指定は書かれていないことがほとんどなので、どのように演奏するかは、演奏者が決めていくことになります。



リード・シート

- ・テーマのメロディ
 - ・コード
 - ・進行
- が書かれているだけ。細かい演奏は書かれていない。



〇〇ソング

A

C	Am	F	G
C	Am	F	G

B

F	G	C	Am
F	G	C	

解説

(1) 楽譜上で一般的に使用される記号を学びましょう。

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| (1) 音部記号 | 五線上の位置と音の高さとの関係を指定する記号。 |
| (2) 拍子記号 | どの音符を1拍とし、その音符が1小節にいくつ入っているかを示した記号。 |
| (3) 小節線(縦線) | 楽譜上の拍子ごとの区切りを明確にする縦線。 |
| (4) 変化記号 | 音符につけて音を変化させる記号。 |
| (5) 臨時記号 | 臨時に音を変化させる記号。 |
| (6) 調号 | その曲の調性、いわゆるキー(KEY)を表す記号。 |
| (7) 音符 | 音の長さを表す記号。 |
| (8) 休符 | 音の休みの長さを表す記号。 |
| (9) 反復記号 | 楽譜の進行に関する記号。 |
| (10) 強弱記号 | 音の強弱に関する記号。 |
| (11) アーティキュレーション記号 | 音の表現に関する記号。 |
| (12) 速度記号 | 速度に関する記号。 |
| (13) その他の記号 | その他の記号。 |

解説

(1) 音部記号とは、五線の左端に記入し、五線上の位置と音の高さとの関係を指定するものです。

図

音部記号

ト音記号(高音部記号)(G Clef)



第2線上がト(G)音であることを示します。
ギターでは主にト音記号を使用します。

ヘ音記号(低音部記号)(F Clef)



第4線上がヘ(F)音であることを示します。
ベース・ギターは主にヘ音記号を使用します。

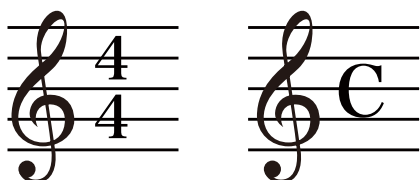
解説

(1) 拍子記号とは、どの音符を1拍とし、その音符が1小節にいくつ入っているかを示す記号です。

図

拍子記号

4分の4拍子



最もポピュラーな拍子です。
「common time (コモン・タイム)」とも呼びます。

4分の3拍子



ワルツに多い拍子です。

4分の2拍子



行進曲に多い拍子です。

8分の6拍子



3拍子を速くした感じの拍子です。

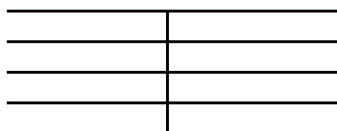
解説

(1) 小節線とは、五線上の拍子ごとの区切りを明確にする縦線のことです。

図

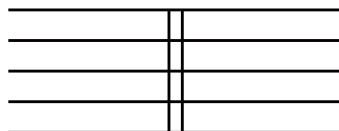
小節線

小節線（縦線）



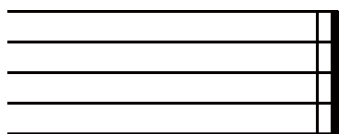
楽譜上の拍子ごとの区切りを明確にする縦線。

複縦線



複縦線は、楽曲の大きな転換点を示す縦線です。
例えば、転調や拍子の変化など、楽曲の中での大きな変化があることを示します。

終止線



終止線は、曲の終わりを示す縦線です。

解説

(1) 変化記号とは、音符につけて音を変化させる記号です。

図

変化記号

シャープ



その音を半音上げる。

フラット



その音を半音下げる。

ナチュラル



もとの音に戻す。

ダブル・シャープ



その音を半音2つぶん上げる。

ダブル・フラット



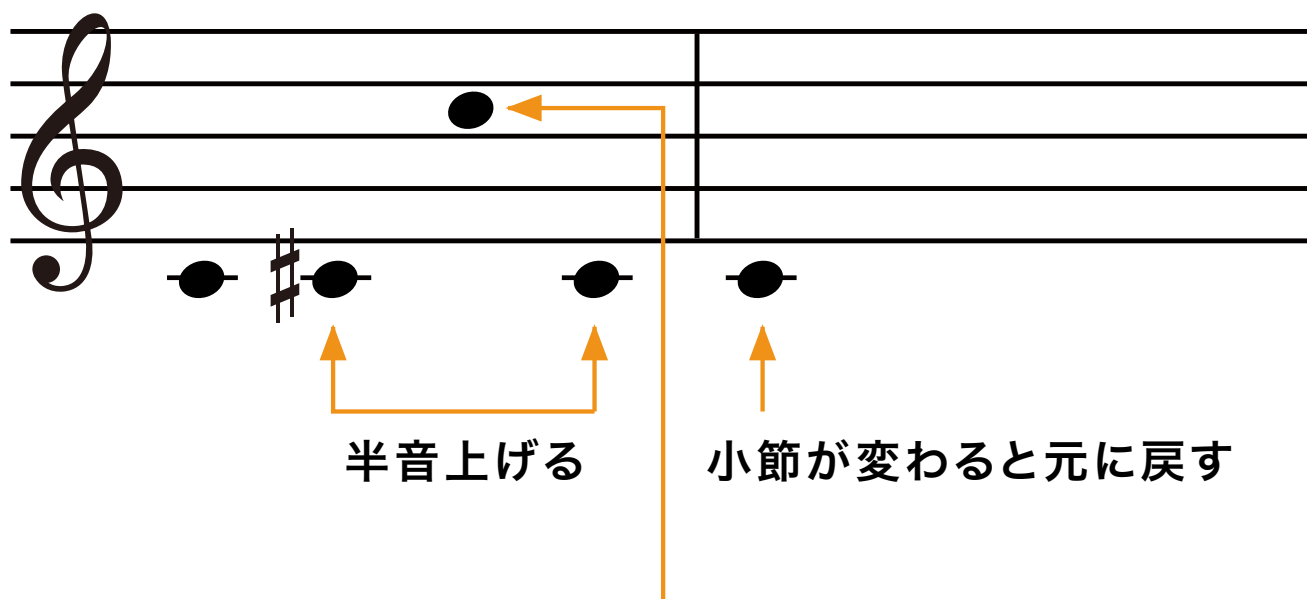
その音を半音2つぶん下げる。

解説

- (1) 変化記号は、臨時記号と調号の2種類があります。
- (2) 臨時記号とは、一時的に音を変化させる記号です。
- (3) 臨時記号が付いた音符は、その小節内すべてで有効となります。
- (4) 同じ高さの音にのみ変化が適用されます。

図

臨時記号



半音上げる

小節が変わると元に戻る

他のオクターヴの音は変化させない

解説

- (1) 調号はその曲の調性、いわゆるキー(KEY)を表しています。
- (2) 変化記号を付ける場所、順番は決まっています。
- (3) キーには、#系と、b系が存在します。

図

調号



系

b 系

	#×1	G or Em		b×1	F or Dm
	#×2	D or Bm		b×2	B ^b or Gm
	#×3	A or F [#] m		b×3	E ^b or Cm
	#×4	E or C [#] m		b×4	A ^b or Fm
	#×5	B or G [#] m		b×5	D ^b or B ^b m
	#×6	F [#] or D [#] m		b×6	G ^b or E ^b m
	#×7	C [#] or A [#] m		b×7	C ^b or A ^b m

- ・5度進行でキーが変わる
- ・ファドソレラミシの順番で#が付く

- ・4度進行でキーが変わる
- ・シミラレソドファの順番でbが付く

解説

(1) 音符の形により、音の長さを表します。

図 - 1

音符（4 分の 4 拍子）

4 分音符



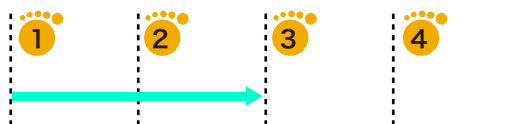
1 拍ぶんの長さを弾く。



2 分音符



2 拍ぶんの長さを弾く。



全音符



4 拍ぶんの長さを弾く。



8 分音符



半拍ぶんの長さを弾く。



16 分音符



1 拍の4分の1の長さを弾く。



図 - 2

1 拍 3 連音符



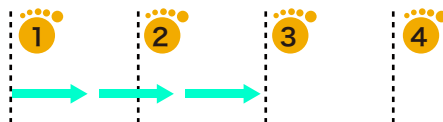
1 拍を均等に 3 分割した
長さを弾く。



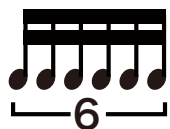
2 拍 3 連音符



2 拍を均等に 3 分割した
長さを弾く。



1 拍 6 連音符



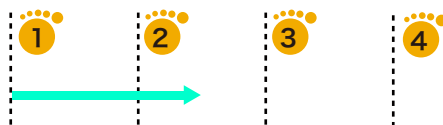
1 拍を均等に 6 分割した
長さを弾く。



付点 4 分音符



1 拍の 1.5 倍の
長さを弾く。



付点 2 分音符



3 拍ぶんの
長さを弾く。



付点 8 分音符



16 分音符 3 つぶんの
長さを弾く。



解説

(1) 休符の形により、休みの長さを表します。

図 - 1

休符（4 分の 4 拍子）

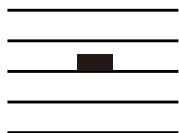
4 分休符



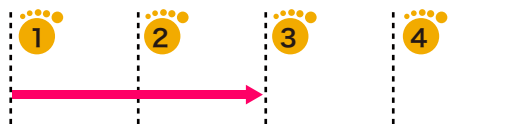
1 拍ぶんの長さを休む。



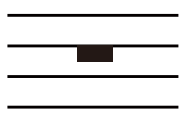
2 分休符



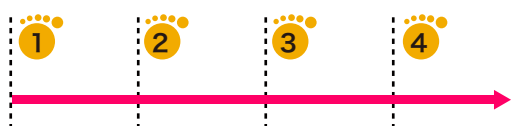
2 拍ぶんの長さを休む。



全休符



4 拍ぶんの長さを休む。



8 分休符



半拍ぶんの長さを休む。



16 分休符

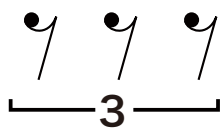


1 拍の4分の1の長さを休む。



図 - 2

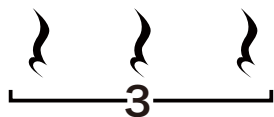
1 拍 3 連休符



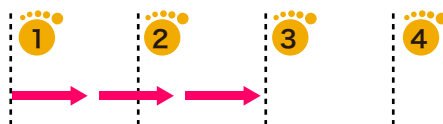
1 拍を均等に 3 分割した
長さを休む。



2 拍 3 連休符



2 拍を均等に 3 分割した
長さを休む。



1 拍 6 連休符



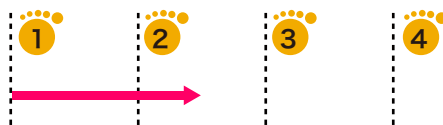
1 拍を均等に 6 分割した
長さを休む。



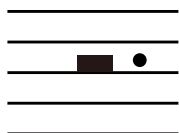
付点 4 分休符



1 拍の 1.5 倍の
長さを休む。



付点 2 分休符



3 拍ぶんの
長さを休む。



付点 8 分休符



16 分音符 3 つぶんの
長さを休む。



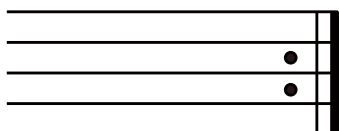
解説

(1) 楽譜の進行に関する記号を学びましょう。

図 - 1

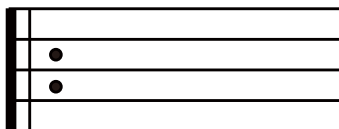
反復記号

反復記号（リピート）



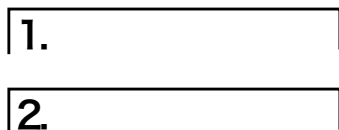
反復記号まで演奏した後、そこまで演奏してきた箇所をもう一度繰り返し演奏する。

反復記号（リピート）（戻り先）



特定の場所から繰り返す時はこのような記号を使う。

1 番括弧、2 番括弧（1 カッコ、2 カッコ）



1 回目は1 番括弧を弾く。
2 回目は1 番括弧は通らずに、2 番括弧を弾く。

図 - 2

ダ・カーポ

最初に戻る。

D.C

フィーネ

繰り返し、ダ・カーポ、ダル・セーニョの後、ここで終わる。

Fine

ダル・セーニョ

セーニョへ戻る。
番号が振られている場合は番号順に扱う。

D.S

セーニョ

ダル・セーニョからここに戻る。
番号が振られている場合は番号順に扱う。

§

トゥ・コード

コードに飛ぶ。
番号が振られている場合は番号順に扱う。

to ⊕

コード

トゥ・コードからここに飛ぶ。
番号が振られている場合は番号順に扱う。

⊕ Coda

解説

(1) 音の強弱に関する記号を学びましょう。

図 - 1

強弱記号

ピアノッシモ

pp

とても弱く弾く。

ピアノ

p

弱く弾く。

メッゾピアノ

mp

やや弱く弾く。

メッゾフォルテ

mf

やや強く弾く。

図 - 2

フォルテ

A large, bold, italicized lowercase letter 'f' representing the musical dynamic marking for Forte.

強く弾く。

フォルテッシモ

A large, bold, italicized lowercase letter 'ff' representing the musical dynamic marking for Fortissimo.

とても強く弾く。

クレッシェンド

A musical notation consisting of two horizontal lines that start at the same point on the left and diverge towards the right, representing a crescendo.

徐々に強く弾く。

デクレッシェンド

A musical notation consisting of two horizontal lines that start at the same point on the left and converge towards the right, representing a decrescendo.

徐々に弱く弾く。

解説

(1) 音の表現に関係する記号を学びましょう。

図 - 1

アーティキュレーション記号

アクセント



強調して弾く。

テヌート



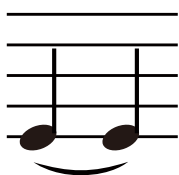
長さいっぱい伸ばして弾く。

スラー



なめらかに弾く。
ギターの場合、主にハンマリング・オン、
プリング・オフ、スライドなどを使用する。

タイ



音をつないで弾く。

図 - 2

スタッカート



音を短く切る。

フェルマータ



リズムの流れを止め、十分に伸ばす。

解説

(1) 速度に関する記号を学びましょう。

図

速度記号

メトロノーム記号



1 分間に4分音符を何回鳴らすかを表示する記号。

リット（リタルダンド）

徐々に遅く弾く。

rit.

ア・テンポ

元の速さで弾く。

a tempo

解説

(1) その他、楽譜に登場する記号を学びましょう。

図

その他の記号

シャッフル記号

ハネたリズムで弾く。



オクターヴ記号（オッターヴァ・アルタ）

書かれた音より1オクターヴ高く弾く。



オクターヴ記号（オッターヴァ・バッサ）

書かれた音より1オクターヴ低く弾く。



解説

(1) ギター奏法に関する記号を学びましょう。

図 - 1

ギター奏法記号

ダウン・ピッキング

ピックを上から下に振り下げて弦を弾く。



アップ・ピッキング

ピックを下から上に振り上げて弦を弾く。



チョーキング

弦を押し上げて1音分(2フレット分)音程を上げる。

Cho

ハーフ・チョーキング

弦を押し上げて半音分(1フレット分)音程を上げる。

H.C

図 - 2

1 音半チョーキング (ワン・ハーフ・チョーキング)

弦を押し上げて1音半分(3フレット分)
音程を上げる。

1H.C

ポルタメント・チョーキング

ゆっくりと音程を上げるチョーキング。

Port.C

チョーク・ダウン

チョーキングした音を戻して音程を下げる。

D

チョーク・アップ

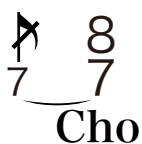
あらかじめチョーキングした状態で音を出す。

U

クォーター・チョーキング

半音に満たないわずかな音程のチョーキング。

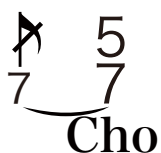
Q.C

ハーモナイズド・チョーキング

チョーキングする弦としない弦を同時に弾いてハーモニーを作る。

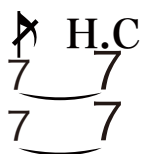
図 - 3

ユニゾン・チョーキング



チョーキングする弦としない弦を同時に弾いて2音が同じ音程になるように弾く。
これをダブル・チョーキング(W.C)と呼ぶこともある。

ダブル・チョーキング



2つの弦を同時にチョーキングする。
ほとんどの場合、半音のみのチョーキングとなる。

グリッサンド（グリス）（グリス・アップ）（グリス・ダウン）



弦上で指を滑らせて音程を変化させる。
始点の音、終点の音、どちらかの音をぼかす。

スライド



あるフレットからあるフレットまで押弦した指を移動させ音程を変化させる。

ハンマリング・オン



左指で弦を叩き音程を出す。ハンマリングとも呼ぶ。

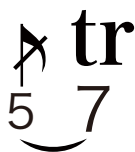
プリング・オフ



左指で弦を引っ搔くようにして音程を出す。
プリングとも呼ぶ。

図 - 4

トリル



素早くハンマリングとプリングを繰り返す。

トレモロ



同じ音程を素早くオルタネイトピッキングし続ける。

ヴィブラート



弦を揺らし、音程を細かく上下させ、音に表情を付ける。

ブリッジ・ミュート



右手の横腹をブリッジに軽く乗せ音の余韻を抑えた音を出す。

ブラッシング



左指を弦に触れさせた状態でピッキングし、「チャッ!」というパーカッシブな音を出す。

アルペジオ



押さえたコードを分散させて弾く。
コードの音を継続させたまま余韻を保つ。

図 - 5

チョップ



目的の音を出す直前にブラッシングの音を混ぜて音を出す。

タッピング（ライト・ハンド）

右手の指で押弦し音を出す。



ハーモニクス



フレットの真上に指を置き、弦に触れただけの状態ではピッキングし、すぐに弦から指を離し、倍音を出す。

ピッキング・ハーモニクス



ピッキングした瞬間に右手親指を弦に触れさせ倍音を出す。親指は直ちに弦から離す。

ピック・スクラッチ

Pick Scratch



ピックの一端を弦（主に5、6弦）に当てて擦って滑らせ、ノイズを出す。

アーミング



アームを使い音程を変化させる。

図 - 6

ボトル・ネック（スライド・バー）

Bottle Neck

スライドバーを使い、弦上を滑らせて、滑らかに音程を変化させる。

ストローク

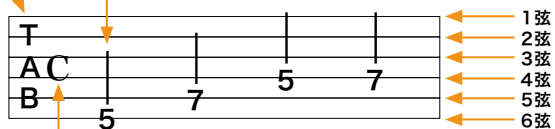


↑ = ダウン・ストローク。
↓ = アップ・ストローク。
若干ゆっくりと弾く。

タブ譜の見方

線が6本

6弦5フレットを押さえて弾くという意味



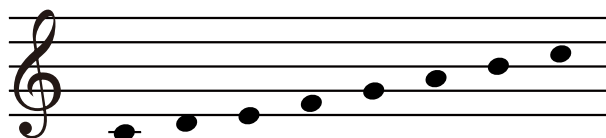
ダウン・ピッキング

アップ・ピッキング

4分の4拍子という意味

(1、2、3、4と数えて次の小節に進む)

五線と音名



ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド
C D E F G A B C

変化記号

シャープ

フラット

ナチュラル



半音上げる。半音下げる。もとに戻す。

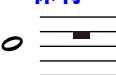
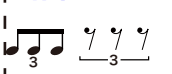
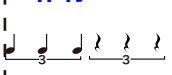
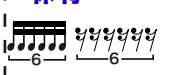
調号

#×1	G or Em	b×1	F or Dm
#×2	D or Bm	b×2	B ^b or Gm
#×3	A or F [#] m	b×3	E ^b or Cm
#×4	E or C [#] m	b×4	A ^b or Fm
#×5	B or G [#] m	b×5	D ^b or B ^b m
#×6	F [#] or D [#] m	b×6	G ^b or E ^b m
#×7	C [#] or A [#] m	b×7	C ^b or A ^b m

音符・休符の長さ

4分音符
・休符

① ② ③ ④

2分音符
・休符全音符
・休符8分音符
・休符16分音符
・休符1拍3連音符
・休符2拍3連音符
・休符1拍6連音符
・休符

付点



長さを1.5倍にする。